

# 2017年度決算説明会

(2017年4月~2018年3月)

開催日:2018年5月23日

(東京都文京区小石川一丁目28番1号)

ジオスター株式会社

#### 目次



- 1. 2017年度決算概要(P3~P13)
- 2. 2018年度業績予想(P14~P17)
- 3. 海外事業(P18~P21)
- 4. 参考資料(P22~P30)

# 1. 2017年度決算概要



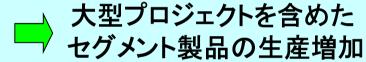
・2017年度の事業環境・・・・・・P4
-2017年度決算の概況・・・・・・P5
·連結決算概要····•P6
·受注高·受注残の推移 ·····P7
·連結貸借対照表概要 · · · · · · P8
·連結主要経営指標 · · · · · · · · PS
•キャッシュフロー計算書概要•••••P10
・設備投資・減価償却の推移・・・・・P11
-2017年度·期末剰余金の配当····P12
·配当金の推移 ·····P13

### 2017年度の事業環境

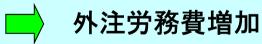


#### 【土木事業】

●公共投資は底堅く推移し、インフラ関連投資も引き続き一定 規模の投資が継続。



●建設技能労働者の需給動向は依然逼迫。



●輸送従事労働者は不足。



輸送費の上昇が継続

### 2017年度決算の概況



大型プロジェクトを含めたセグメント製品増加による売上増に加え、 全工場の操業最大化に向け各工場の設備投資、整流化対策、相互連 携強化に取組み、全社最適生産体制を推進すると共に、原価低減施 策を実行することで、前連結会計年度を上回る業績となる。

- ·セグメント新規案件(羽田際内トンネル他)への対応力向上。 茨城工場、東松山工場の設備対策工事完了し、本格生産に移行。
- ・横浜地区道路セグメントの生産。 金谷工場:RCセグメントの生産継続。
- ・海外子会社、マレーシア工場 シンガポール地下鉄を中心としたセグメントの生産継続。 同時に安定的収益の確保に向け事業基盤の整備・強化を実施。

# 連結決算概要



		2016年度 実 績	2017年度 実 績	前期比	増減率
		Α	В	C=B-A	C/A
売」	- 高	31,044	33,640	2,595	8.4%
営業利益		2,838	3,387	549	19.3%
経常	利益	2,812	3,387	574	20.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益		1,943	2,198	254	13.1%
中間		5.00	5.00	-	
配当(円)	期末	13.50	16.00	2.50	
	年 間	18.50	21.00	2.50	13.5%

			(単位:百万円 <u>)</u>
2017年			
2017年	2017年	2018年	予想
5月12日	9月7日	2月9日	公表值
	(配当修正)	(配当修正)	増減率
33,100	33,100	33,100	1.6%
2,800	2,800	2,800	21.0%
2,800	2,800	2,800	21.0%
1,900	1,900	1,900	15.7%
未定	5.00	5.00	
未定	未定	14.00	
未定	未定	19.00	

### 受注高・受注残の推移



	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
受注高	20,795	51,044	21,890	43,152	31,097
期末受注残	13,402	44,560	36,926	49,034	46,491



# 連結貸借対照表概要



_								<u> </u>	L. <b>ロ</b> 刀[]/
	科目	2016 年度	2017 年度	増減額		科目	2016 年度	2017 年度	増減額
		Α	В	B-A	B-A		Α	В	B-A
	現預金同等物	1,493	1,851	357		長短借入金	3,280	4,018	737
	受手·売掛金	8,813	8,744	△ 68		支手•買掛金•未払	7,805	8,068	262
	たな卸資産	7,683	8,330	647		その他	4,020	3,814	△ 205
	未収入金	2,547	3,617	1,070					
	その他	587	802	214	1	負債合計	15,106	15,901	795
	流動資産合計	21,125	23,346	2,220		自己資本	16,452	18,332	1,880
	有形固定資産	9,192	9,485	293		その他有価証券 評価差額金	317	490	173
	投資有価証券他	1,240	1,439	199		非支配株主持分	Δ 1	36	37
	固定資産合計	10,432	10,924	492	純資産合計		16,451	18,368	1,917
	資産合計	31,558	34,270	2,712	1	負債純資産合計	31,558	34,270	2,712
	© 0040 OFFOOTD CODDODATION AUDITION A								

# 連結主要経営指標



	2016年度	2017年度
自己資本当期純利益率 (ROE)	12.3%	12.6%
総 資 産 経 常 利 益 率 ( R O A )	9.3%	10.3%
売上高営業利益率	9.1%	10.1%
D/E レ シ オ	0.20倍	0.22倍
自己資本比率	52.1%	53.5%
有 利 子 負 債 残 高	3,280百万円	4,018百万円
期末総資産	31,558百万円	34,270百万円
期末自己資本	16,452百万円	18,332百万円

# キャッシュフロー計算書概要 GEOSTR



2017年度はフリーキャッシュフローの増加2.4億円及び借入金の増加7億円 により配当金5.7億円支払を行い、期末現金同等物は3.5億増加となる。

(単位:古石田)

		'	<u>、单位:日万円)</u>
	2016年度	2017年度	増減額
	Α	В	B-A
税金等調整前当期純利益	2,782	3,287	504
減価償却費	1,220	1,447	227
法人税	<b>△</b> 663	<b>△</b> 1,250	△ 586
その他営業キャッシュフロー	494	△ 1,554	△ 2,049
投資キャッシュフロー	△ 1,904	△ 1,684	219
フリーキャッシュフロー	1,929	245	△ 1,684
借入金等 返済・調達	△ 1,183	700	1,883
支払配当	<b>△ 468</b>	△ 578	△ 109
その他	△ 13	△ 9	3
現金同等物 増減額	263	357	93
現金同等物 期首残	1,229	1,493	263
現金同等物 期末残	1,493	1,851	357

### 設備投資・減価償却の推移



2017年度の設備投資は、セグメント新規案件への対応力向上に向けた茨城工場を中心とした設備対策工事が主なものであります。

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 (見込)
設備投資	269	1,326	2,885	1,907	1,818	10億円程度
減価償却費	447	518	1,003	1,220	1,447	12億円程度



#### 2017年度・期末剰余金の配当



当期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に従い、1株につき16円として定時株主総会にご提案させて頂く予定です。

平成29年12月に1株につき5円の中間配当を実施しておりますので、当期の年間配当金は1株につき21円となります。

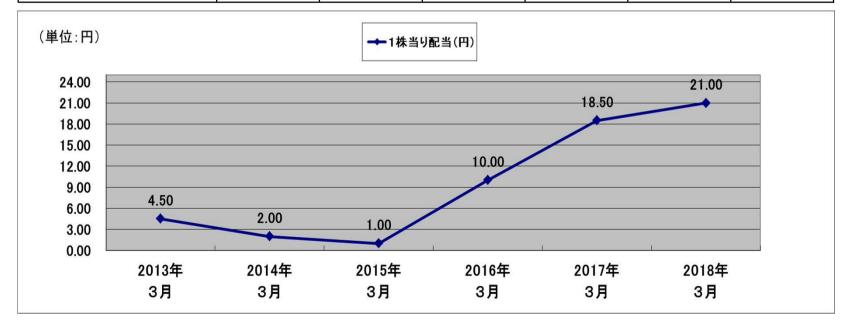
#### 【利益配分に関する基本方針】

当社グループは適正な利潤の確保に努め、健全な発展と永続性を目指し、収益状況に対応した安定適性な配当維持に努力することを基本方針としております。また内部留保を充実し、企業体質の強化と将来の事業展開に備えたいと考えております。

### 配当金の推移



決算年月	2013年 3月	2014年 3月	2015年 3月	2016年 3月	2017年 3月	2018年 3月
1株当り配当(円)	4.50	2.00	1.00	10.00	18.50	21.00
(内中間配当額)	(-)	(-)	(-)	(-)	(5.00)	(5.00)



## 2. 2018年度業績予想



・2018年度の概要(1)・・・・・・・P15
-2018年度の概要(2)P16
-2018年度業績予想P17

### 2018年度の概要(1)



引き続き恵まれた市場環境は継続するものの、能力増強を行った他社との競争激化や資材価格・輸送費の上昇が想定されるが、当社グループは、新規物件の確実な受注に努め、引き続き全社最適生産に取り組むと共に徹底した原価低減対策を実行し、収益確保に努めます。

- ・営業活動強化により需要を確実に捕捉すると共に、全社生産調整による各工場の連携強化、安定生産を継続する。
- ・大型セグメント案件の本格的出荷の開始。 製品の効率的な輸送・出荷に向けて、運行管理システムにより出荷業 務を一括管理すると共に、輸送費のミニマム化を図る。
- ・ハイブリッド建材を中心とした差別化製品の開発、展開を進めると共に、 既存の大型・特殊製品の技術提案力を強化する。

### 2018年度の概要(2)



#### 製造子会社(ジオファクト)

・ジオスター㈱の設計、生産、施工技術部門と製造子会社が一体となり、 技術力(コスト、品質)をさらに強化し、収益力向上に繋げる。

#### 海外事業

・安定的収益確保に向けて営業力強化、生産管理能力の向上に取り組む。 また、ジオスターグループの将来の中核事業に育成するため、当社グ ループリソースを継続投入する。

# 2018年度業績予想



			2017	年度	2	018年度			期比
			実績		業績予想	業績予想(5/15公表値)		増減額	増減率
			Α	 比率	第2四半期 (累計)	通期 B	通期 B 比率		C/A
売	上	高	33,640	100.0%		35,800	100.0%	2,160	6.4%
営業	美 利	益	3,387	10.1%	950	2,800	7.8%	△ 587	△ 17.3%
経常	常 利	益	3,387	10.1%	950	2,800	7.8%	△ 587	△ 17.3%
親会社する当	株主に州 4期 純 利		2,198	6.5%	650	1,800	5.0%	△ 398	Δ 18.1%
配当	(円	)	21.00	-	未定	未定	-		_

### 3. 海外事業



- 海外事業(ベトナム)・・・・・・・・・ P19
- 海外事業(シンガホ<sup>°</sup>ール・マレーシア)・・・・ P20~21

#### 海外事業(ベトナム)



BETON6(ベトナム)社は、当社の技術指導を受けて、ベトナム初のシールドトンネル用RCセグメント製造・納入を成功裡に完了。



© 2018 GEOSTR CORPORATION, All Rights Reserved.

# 海外事業(シンガポール・マレーシア) GEOSTR



#### マレーシア工場 外観



# 海外事業(シンカ゛ホ゜ール・マレーシア) GEOSTR







### 参考資料



- 今後予定される主なプロジェクト
- ジオスターの地下空間 セグメント製品 土木製品

#### 今後予定される主なプロジェクト



1.多摩川トンネル

概要:国道357号東京湾岸道路

多摩川をはさんだ羽田空港エリアと対岸の

川崎市臨海部を結ぶ海底トンネル

区間:川崎浮島~羽田空港

トンネル区間:約3.4キロ

完成予定:未定

2.枚方トンネル

概要:新名神高速道路

枚方市域の地下部を通過するシールドトンネル

区間:大阪府枚方市~京都府八幡市

トンネル区間:約3キロ(上下線合わせて約6キロ)

完成予定:2023年



#### 3.北海道新幹線

概要:新函館北斗~札幌を結ぶ新幹線工事

区間:札幌駅~手稲トンネル

延長:約8キロ

完成予定:2030年

#### 4.リニア新幹線

概要:東京と名古屋を結ぶ高速鉄道

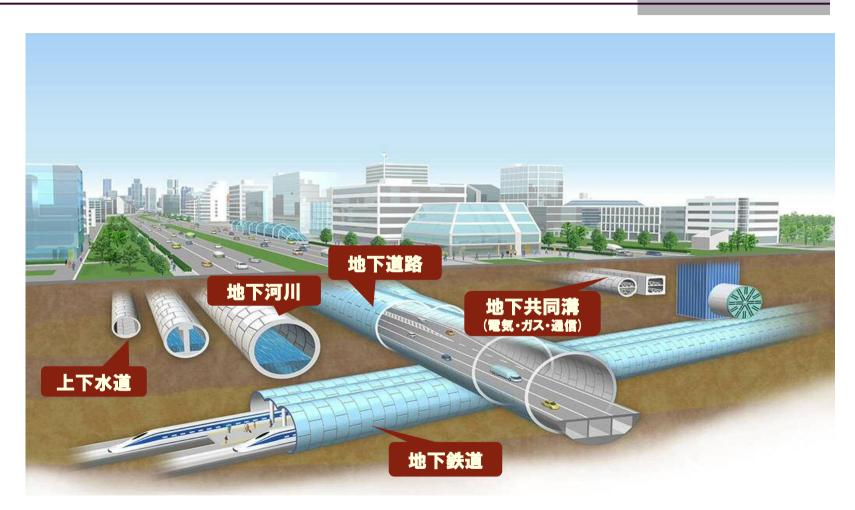
区間:品川~名古屋

シールドトンネル区間:品川側約40キロ 名古屋側約20キロ

完成予定:2027年

# ジオスターの地下空間





## セグメント製品



●RCセグメント



- ●スチールセグメント
- ●CPセグメント
- ●HCCPセグメント
- ●NMセグメント





# 土木製品





### 土木製品



- ●ボックスカルバート ●モジュラーチ
- ●アーチカルバート ●ビッグボックス
- ●L型部材
- ●共同溝
- ●防潮堤

- ●矢板
  - ●スラブ





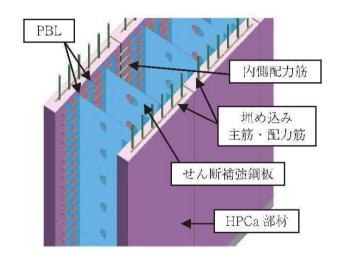


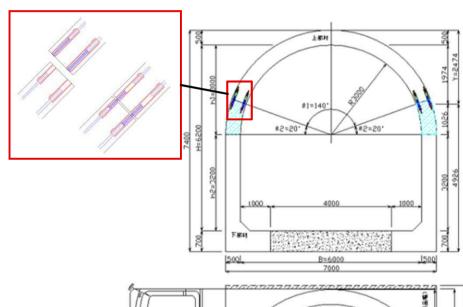
### 新製品開発

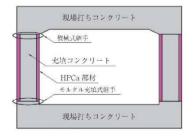


#### ハイブリッド ハーフプレキャスト側壁

#### 曲線用継手







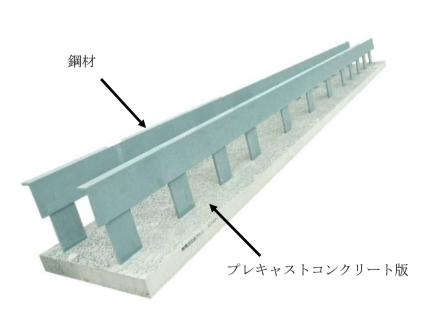


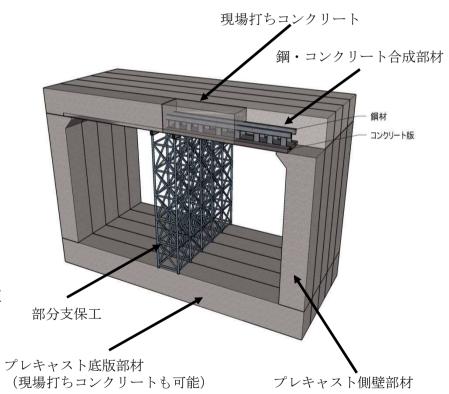
### 新製品開発



#### ガッチリフォーム

#### ジャンピングカルバート







本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任をおいません。